

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
株式会社 スズキ自販北海道本社

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	基本設計段階				重点評価項目					建物全体・共用部分	住居・宿泊部分		全体
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数				
	A	B	C	D									
Q 建築物の環境品質													2.4
Q1 室内環境													2.6
1 音環境													3.0
1.1 騒音													3.0
1.2 遮音													3.0
1 開口部遮音性能													3.0
2 界壁遮音性能													3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)													3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)													3.0
1.3 吸音													3.0
2 温熱環境													2.0
2.1 室温制御													3.0
1 室温													3.0
2 外皮性能													3.0
3 ゾーン別制御性													3.0
2.2 湿度制御													1.0
2.3 空調方式													1.0
3 光・視環境													3.0
3.1 昼光利用													3.0
1 昼光率													3.0
2 方位別開口													3.0
3 昼光利用設備													3.0
3.2 グレア対策													3.0
1 昼光制御													3.0
2 眩り込み対策													3.0
3.3 照度													3.0
3.4 照明制御													3.0
4 空気質環境													3.0
4.1 発生源対策													3.0
1 化学汚染物質													3.0
2 浮遊粒子状物質													3.0
4.2 換気													3.0
1 換気量													3.0
2 自然換気性能													3.0
3 取り入れ外気への配慮													3.0
4.3 運用管理													3.0
1 CO <sub>2</sub> の監視													3.0
2 喫煙の制御													3.0
Q2 サービス性能													2.6
1 機能性													1.9
1.1 機能性・使いやすさ													1.0
1 広さ・収納性													1.0
2 高度情報通信設備対応													1.0
3 バリアフリー計画													1.0
1.2 心理性・快適性													2.6
1 広さ感・景観													4.0
2 リフレッシュスペース													3.0
3 内装計画													1.0
1.3 維持管理													2.5
1 維持管理に配慮した設計													3.0
2 維持管理用機能の確保													2.0
3 衛生管理業務													3.0
2 耐用性・信頼性													2.7
2.1 耐震・免震													3.0
1 耐震性													3.0
2 免震・制振性能													3.0
2.2 部品・部材の耐用年数													3.1
1 躯体材料の耐用年数													3.0
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔													3.0
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔													4.0
4 空調換気ダクトの更新必要間隔													3.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔													3.0
6 主要設備機器の更新必要間隔													3.0
2.4 信頼性													1.4
1 空調・換気設備													1.0
2 給排水・衛生設備													1.0
3 電気設備													1.0
4 機械・配管支持方法													3.0
5 通信・情報設備													1.0
3 対応性・更新性													3.3
3.1 空間のゆとり													4.2
1 階高のゆとり													5.0
2 空間の形状・自由さ													3.0
3.2 荷重のゆとり													3.0
3.3 設備の更新性													3.0
1 空調配管の更新性													3.0
2 給排水管の更新性													3.0
3 電気配線の更新性													3.0
4 通信配線の更新性													3.0
5 設備機器の更新性													3.0
6 バックアップスペースの確保													3.0

CASBEE_Sapporo2014v1.2 株式会社 スズキ自販北海道本社		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)						
スコアシート	基本設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
		A	B	C	D	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体		
配慮項目						評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>						-	0.40	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			C			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			C			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮						1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		1.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			2.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>						-	-	-	-	3.0
<b>LR1 エネルギー</b>						-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	A					-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用	A				無し	3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 0.80 住宅(専有部) -	4.0	0.63	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A				BPI:0.72 一次エネルギーBPI:0.80	4.0	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)	A					-	-	-	-	-
4 効率的運用						2.0	0.25	-	-	2.0
集合住宅以外の評価						2.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					1.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価						-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	A					5.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					5.0	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>						-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護						3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水						3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減						2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減		B				3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			壁・天井仕上材はLGS下地で容易に分別可能	3.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用					全般的に床・壁・天井の仕上材・接着材・塗装・シーリング有害物質	5.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避					不活性ガス消火材を使用しCDPが0でGWPが50未満	2.6	0.70	-	-	-
1 消火剤	B					4.0	0.33	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)	B					2.0	0.33	-	-	-
3 冷媒	B					2.0	0.33	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>						-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		B			ライフサイクルCO2排出率が50%以下である。	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮						1.8	0.33	-	-	1.8
2.1 大気汚染防止		B				1.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制						2.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		B				1.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制					路上駐車させない十分な駐車、敷地内荷おろし場所確保、二方向導入	4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D		2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮						1.8	0.33	-	-	1.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						2.3	0.40	-	-	-
1 騒音						1.0	0.33	-	-	-
2 振動						3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						1.6	0.40	-	-	-
1 風害の抑制						1.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制						1.6	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						1.0	0.70	-	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	-